

平成25年度第1回瑞浪市子ども・子育て会議議事録

平成25年12月18日 午後1時30分から
瑞浪市役所2階大会議室

正村次長：それでは時間となりましたので、始めさせていただきます。本日は大変忙しいところ瑞浪市子ども・子育て会議にご出席いただきましてまことにありがとうございます。本日の司会進行を務めさせていただきます。市民福祉部次長の正村と申します。どうぞよろしくをお願いします。

それでは只今より瑞浪市子ども・子育て会議を開催させていただきます。はじめに、瑞浪市子ども・子育て会議委員委嘱式を行わせていただきます。水野市長より委嘱状を交付させていただきます。

市長が委嘱状を配布

正村次長：ありがとうございました。皆様よろしくをお願いします。それでは、瑞浪市長よりご挨拶申し上げます。

水野市長：皆さんこんにちは。只今は瑞浪市子ども・子育て会議委員の皆様へ委嘱状を交付させていただきました。2年間の任期であります但よろしくをお願いします。

現在、瑞浪市では次世代育成支援対策推進行動計画に基づきまして子育て支援を進めてきております。その他にも子どもの中学校までの医療費の無料化を始めとします様々な福祉政策を行う中で、少しでも子育てがしやすい環境づくりを推し進めてきました。その行動計画も平成26年度で終了することになっております。そのような中で、昨年8月に子ども・子育て関連法案が成立いたしましたして、平成27年度からは子ども・子育て支援新制度がスタートするということになっております。この法律に基づきまして市町村といたしましては5年間を1期とします子ども・子育て支援計画を策定しなければならないということが法律に示されておりまして、平成27年度から平成31年度までの間の支援計画を策定するということになって参りました。策定に当たりましては、合議制の機関を置くことと定めておりまして、今回、瑞浪市子ども・子育て会議を設置しまして、委員の皆様へ委嘱をお願いしたところです。

その子ども・子育て支援新制度ということですが、学校教育と保育を一体化いたしまして、幼児期における質の高いサービスを総合的に提供する仕組みを作りますとともに、地域の特性に応じた更なる地域の子育て支援を推進していくことを主眼とされております。しかし、瑞浪においては、他市町村に先駆けまして平成16年度より幼保一体化の取り組みを推進してきておりまして、更に来年度平成26年度4月からは、公立幼稚園全園にて3歳児から5歳児までを対象とします幼保合同活動を行うこととしておりまして、それに向けた施設整備を実施している最中です。

都市部における保育の最大の課題は、増大する待機児童の解消と言われておりますが、

瑞浪市におきましては、今年度当初の時点で待機児童が0ということになっております。それぞれの地域により様々な状況が異なりますので、当然のことながら子育て支援計画にも違いが生じてきます。

瑞浪市の場合は、従前の幼保一体化を土台としまして更なるきめの細かい瑞浪市独自の子育て支援策を考えていく必要があるのではないかと考えております。

そのためには、子育てに関わる様々な立場におられます皆様方からのご意見を伺いまして瑞浪市にとってより効果的な子育て支援策を講ずることができるよう努めていきたいと思っております。委員の皆様方の忌憚のないご意見・ご提案を頂きながら素晴らしい子育て支援の計画を立案していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上で私の挨拶とさせていただきます。

正村次長：ありがとうございました。続きまして、自己紹介に移らせていただきたいと存じます。

委員の自己紹介

正村次長：ありがとうございました。続きまして会長・副会長の選任に移らせていただきます。本日の資料の 2 瑞浪市子ども・子育て会議条例の第5条に「子ども・子育て会議に会長及び副会長を置く。」並びに同条第2項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」という規程がございますが、委員の方々より自薦及びご推薦いただければと存じます。如何でしょうか。

委員：事務局一任。

正村次長：ありがとうございます。事務局へ一任していただけるお声が上がりましたが、よろしいでしょうか。

委員：拍手

正村次長：ありがとうございます。それでは事務局の案を申し上げます。会長に楯委員、副会長に渡邊委員をお願いしたいと存じますが、皆さん如何でしょうか。

委員：拍手

正村次長：ありがとうございます。それでは会長に楯委員、副会長に渡邊委員ということで会を進行させていただきたいと思っております。ここからは条例に従いまして、会長に議長をお願いしたいと存じます。

会長：それではご指名いただきましたので、議事進行していきたいと思っております。平成27年度からスタートする新しい制度ということで、皆さん各々の立場から瑞浪市独自の計画となるようご意見をいただければと思っております。本日は事務局からの説明が大半を占めると思っておりますが、説明後にご意見を伺うという流れで進めていきたいと思っております。レジメの議題(1)子ども・子育て支援新制度について資料の 3 により事務局からの説明をお願いします。

事務局より別紙資料により説明

会長：ありがとうございます。ご意見等があれば伺いたいと思っておりますが如何でしょうか。

委員：かなり大がかりな事業計画かと思いますが、国から市へ補助金等は交付されているのでしょうか。

事務局：新制度に位置づけられている子ども・子育て支援サービスの事業を実施しますと国から補助金が入ることになります。ただし、具体的な金額については決まっていない状況ですので、現時点では不明です。

委員：子育て短期支援事業について、ショートステイ事業として東濃の他市町村では実施しているところもあるかと思いますが、瑞浪市の状況はどうなってみえますでしょうか。

事務局：東濃ですと中津川市が実施してみえるかと思いますが、児童養護施設との契約も必要となりますので、ニーズがあれば検討していきたいと考えております。

会長：今後の会議において5年間の計画を策定していきますので、次回以降は皆さんのご意見をお願いできればと思います。続きまして、議題(2)瑞浪市子ども・子育て会議について資料 4により事務局の説明をお願いします。

事務局より別紙資料により説明

楯会長：会議の目的や主旨等の説明がありました。これから策定していくに当たって各々の立場で子育てにおいて困っていること等をお話しいただきますと計画の案を作成するうえで参考になるかと思えます。

委員：教育の計画策定委員会に参加させていただいているのですが、小中学校の保護者の方に教育に関する講演等に出席していただくことが困難な現状があります。育児休暇を取得している時期に中学校ぐらいまでを見据えた教育等に関する講演会に託児を組み込んで行うべきかと思えます。子どもが中学生になってから中学生に関する講演を聞いていたのでは遅いです。育児休暇を終えた保護者の方は仕事と子育ての両立で余裕がない方が多いと思えますし、育児休暇中等の比較的余裕のあるうちに実施していただきたいと思えます。

会長：子育てに関する講演を子どもさんの幼児期に保護者の方に聞いてもらうということですが、来てほしい方が来ないのが現実です。そのような場を設け、保護者全員が参加しなければとなるよう今回の計画に盛り込んでいただき、市から働きかけていくべきかと思えます。

委員：私どもの園は昨年立ち上げたばかりですが、0～2歳の30人定員で始めました。1年目の途中の時点で定員に追従する希望がありましたので5人増やしました。2年目の今年度は、更に50人に増やしました。これだけ増えているのは、0歳、1歳の途中入園が非常に多いためですが、保育士を多めに雇用し、保護者の方のニーズに応えたいということやっております。1年目と同じような増え方をしますと保育士が不足してしまいますので、保育士の確保に奔走していますが、なかなか困難なのが現状です。

水野市長：ありがとうございます。愛保育園は市民の皆さんのニーズをしっかりと捉えて運営していただいております。365日6時から21時まで開所と、民間の強みを活かして運営していただいておりますので、市としましても支援させていただきたいと思っております。

ります。公立園におきまして、今年度より生後57日からの保育を開始しております。桔梗幼稚園において実施しておりますが、園長先生からご意見はいかがでしょうか。

委員：未満児の園児数は増加しています。働かなければならない保護者の方を助けることになり必要なことだと考えております。また、子どもさんだけでなく、保育を通して子どもさんを預かりながら保護者の方が親の役割を果たせるよう支援していきたいと考えております。その辺りも計画に組み込んでいただければと思います。

委員：少子化の進行を食い止めるということを産婦人科医として考えてきましたが、先ず子どもさんをたくさん産んでいただくことが重要ですが、最も考えていかなければならないのは、母性を育てるためにも、教育としてこれからお母さんになる小中学生の意識改革が必要だと思っております。昨今、高齢出産が増加していますが、出産の適齢期というのは本当に限られています。その適齢期に関しての意識改革を行うことが出生の増加にも繋がるのではないかと思いますので、早い時期に子どもさんを産んでもらえるような方を計画に盛り込んでいただきたいです。

会長：市の支援を受けながら婚活支援事業を実施していますが、婚活パーティーを開催しても女性の方がなかなか集まらないのが大きな課題でして、市内の各所において広報し募集しております。参加していただく女性の方は30代以上の方が多いというのが現状です。

委員：お話を伺っておりまして、子育てと親育てとお話をされてみえたのですが、親の立場としてどういった部分が問題なのか自覚がない親がほとんどだと思います。私もそうなのですが、親は皆さん子どもには一生懸命向き合っているつもりだと思いますが、専門の方から見ると間違っていたりする部分があるのでしょうか。ハッキリと指摘されると気分を害される方もみえるかもしれませんが、伝えていただいた方が良いかと思います。出席してほしい保護者の方は出席してもらえないというお話でしたが、どのような保護者の方に出席してほしいのかが分からないので教えていただければと思います。先程のお話で、出産には限界があるということを学生に教育してあげたいなと感じました。瑞浪の人口減少についてですが、婚活の場等において瑞浪で暮らすメリットや瑞浪の良さをアピールして結婚して瑞浪に住んでもらえるよう働きかけてはどうかと思います。

委員：今と昔で違うなと感じるのは、今も昔も子どものためということには変わらないのですが、最近は子どものためだからやってもらって当然という考え方が顕著ではないかと思えます。以前は、子どものためだから親としてやらせてもらうという考え方がありました。子どものためだからやってもらって当然という考え方も間違いではないと思いますが、学校と親さんの協力関係を築くことは難しいと思います。

委員：インターネットがあまり活用されていないように感じました。子育て支援センターや児童館の便りが紙媒体である等、行き渡らない情報があるかと思えます。せっかく支援策があっても市民の方が知らないのでは意味がありませんので、重要な情報発信ツールであるインターネットを活用できるよう改善していただきたいと感じました。

水野市長：今良いご意見をいただきました。瑞浪のPRも、もっともっと必要でしょうし、瑞浪がせっかく良いことをやっているにも関わらず、それを必要としている人に届いていないというのは大変残念なことです。計画はもちろんですが、明日にでも直ぐ改善できる部分は改善したいと思います。

それから、ご意見にもありましたが市民の方々の意識が変わってきていまして、昨今は権利意識が非常に強くなっているように思います。子育てにしても、まちづくりにしても、市や学校だけではできません。昔は家庭や地域でも指導して子育ての巧みなバランスがありました。今はそのバランスが損なわれ上手く機能していないのではないかと思います。その改善のためには、ご意見にもありましており教育の見直しが必要ではないかと思ひますし、そのバランスがベースであり、ベースがない状況でどのような制度を実施しようとも機能しないのではないかと思います。

現在、瑞浪市では中学校3年生までの医療費無料化を実施しています。ありがたい制度であるというご意見がある一方で、無料であるが故に何かあればすぐ病院にかかるため親の子ども体調を見る目が育たない等のご意見をいただいております。大半の方が前者のご意見であり、市として必要であると考えておりますので制度として継続していきますが、この制度も親さんが子どもの体調を見極めて病院にかかる必要の是非を判断していただければ節税に繋がり、制度の継続にも繋がります。ですので、私としましては今ある制度を大事に使っていただければと思っております。

委員：今の医療費のお話で、一部の方ですが、控除対象でないワクチンを打たず、インフルエンザにかかってから病院に行けば無料であるという考え方を持った方が現実的にみえます。そのような考え方を改めるには、やはり幼少期の教育が必要であると感じます。

委員：児童館についてですが、児童館は瑞浪市に建てていただいた建物で社会福祉協議会が運営していますので、便りに関しては瑞浪市社会福祉協議会のホームページにてご覧いただけるようになっております。

委員：市のホームページでも見えると良いかと思ひます。

水野市長：改善いたします。

会長：貴重な意見を多数いただきましてありがとうございました。子育ては今も昔も変わらないのですが、子育てに関する親の価値観の変化によるズレがあるように感じます。具体的な対策等に関しては、皆様のご意見をいただきながら改善に向けて進めていきたいと思ひます。続きまして、議題(3)瑞浪市の取り組み状況について資料5により事務局の説明をお願いします。

事務局より別紙資料により説明

楯会長：ありがとうございました。議題は以上ですが、せっかくの機会ですので皆様ご意見があればお願いします。

委員：土岐小学校で指導員として学童に携わっています。私たち保育者は保護者の方の一生懸命を理解しているのですけれども、保護者の方のニーズに応えていく中で、保育時間

の増加による子どもの寂しさという現状がありますので、それを保護者の方に伝えながら支援していくのが親育ての意味合いではないかと思えます。受け皿があるメリットと、その受け皿によって子ども達の思いが病んでいかないように愛を持って子ども達に接していきたいと考えています。

ファミリーサポートセンター事業についてですが、事業の提供を受けるうえで利用料を払うというのは平等だと思えますが、1人が1人を見るという保育サービスは非常に良いと思えますし、利用料の補助による減額がなされれば保護者の方の負担が減り利用の増加にも繋がりますので、今後検討していただければと思います。

会長：その他ご意見ありますでしょうか。子育てについて大変な課題がありますが、私達の使命ですので、皆さんそれぞれの立場で率直に意見を出していただき、瑞浪市独自の計画案を作成していきたいと思えます。それでは議長の任を終わらせていただきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。

正村次長：ありがとうございました。以上で会議を閉会させていただきますが、本日の議題に関しまして、後日ご意見等がございましたら、皆様の貴重なご意見を随時いただければと思えますので、社会福祉課子育て支援室までご連絡いただければと思えます。では副会長より閉会のご挨拶をお願いします。

副会長：本日の会議お疲れまでした。瑞浪市が住みよい町になり、子どもたちが健やかに育っていくよう皆さんの力添えをいただければと思っております。本日はありがとうございました。